

今年の1月から ごみの分別に 「危険ごみ」が追加されます!



「危険ごみ」の種類

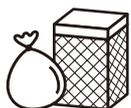


○スプレー缶・カセットボンベ
中身を使い切り、風通しのいい屋外など火の気がない場所で穴を開けてから出してください。

○ライター
中身を使い切ってから出してください。

今年1月から試験的に「危険ごみ」という分別区分を設けて収集します。「危険ごみ」は毎月2回目の水曜日の「燃えないごみの日」に無料で収集しますので、透明か半透明の袋に入れて出してください。

4月から正式な実施を予定しています。「燃えないごみ」と「危険ごみ」が混在していた場合は、収集しますのでご協力お願いします。



1月の「燃えないごみ」の日は9日(水)です。



喜びが分かち合える 一年を目指して

明けましておめでとうございます。
謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

市民の皆さまには、輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、札幌圏の生産・流通の拠点となる石狩湾新港に地上式で最大級を誇る石狩LNG基地が完成しました。約20年前、道内最大級の工業団地を目指してスタートした当初計画がほぼ達成し、道央圏をリードする工業団地として成長を続けてきています。今春には石狩LNG基地に第二タンクが建設される予定もあり、安定したエネルギー供給拠点として石狩湾新港地域が、今まで以上に北海道経済の発展を担っていくものと期待しております。

昨年暮れには国政選挙もありました。環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)の是非、原子力発電の今後、消費税増税、社会保障制度等、今日本が抱える多くの問題が浮き彫りとなりました。どの問題をとつても一朝一夕で結論がでるものではありません。今の子どもたち、さらに未来を生

きる世代にとって最善の選択をしなければならぬと感じました。

さて本年は、恒久的な水源確保を目的として、当別ダムから石狩市内への給水が開始されます。しかし、新たな水源確保と同時に設備の更新、水道施設の耐震化に係る費用に関して市民の皆さまにご負担をお願いする結果となりました。今後も安心、安全な水の供給を続けられるよう全市一丸となつて取り組む所存ですので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

また「防災計画・水防計画」の改訂および「地区防災ガイド」を策定いたします。特に「地区防災ガイド」は、市内を8地区に分け、地区の地勢を考慮した実践的な行動指針とすることで、地区の防災力を高めていきます。今後は、計画に基づいて皆さまのご協力をいただきながら取り進めてまいります。たいと思っております。

教育行政では、社会変化に即した教育内容や教育環境を充実させることが求められてきております。子ども一人ひとりを大切にするきめ細やかな取り組みを進め、学校支援機能を充実させることにより、個々の個

性を大切に育んでいきたいと考えています。エネルギー施策は、低コストで環境にやさしく、しかも安定して供給できるエネルギーを得るためには、LNG基地やオイルターミナルなど石狩湾新港地域が有するエネルギー供給能力と風力や太陽光等の再生可能エネルギーをバランスよく組み合わせることが必要です。エネルギーのベストミックス、さらには、次世代の供給網を創出し、日本を代表する新エネルギー都市を目指したいと考えております。

市民の皆さまには引き続きご協力をお願いすることも多いと思いますが、皆さまと痛みも喜びも分かち合いながら協働による市政運営に取り組んでまいりたいと存じます。

結びに、この一年が皆さまにとりまして幸多き、健やかな一年となりますことをご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

平成25年 新春

石狩市長 田岡克介

